

6:11 しかし、神の人よ。あなたは、これらのことを避け、正しさ、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を熱心に求めなさい。

6:12 信仰の戦いを勇敢に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこのために召され、また、多くの証人たちの前でりっぱな告白をしました。

6:13 私は、すべてのものにいのちを与える神と、ポンテオ・ピラトに対してすばらしい告白をもってあかしされたキリスト・イエスとの御前で、あなたに命じます。

6:14 私たちの主イエス・キリストの現われの時まで、あなたは命令を守り、傷のない、非難されるところのない者でありなさい。

6:15 その現われを、神はご自分の良しとする時に示してください。神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、

6:16 ただひとり死のない方であり、近づくこともできない光の中に住まれ、人間がだれひとり見たことのない、また見ることでない方です。誉れと、とこしえの主権は神のものです。アーメン。

6:17 この世で富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。また、たよりにならない富に望みを置かないように。むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。

6:18 また、人の益を計り、良い行ないに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。

6:19 また、まことのいのちを得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。

6:20 テモテよ。ゆだねられたものを守りな

さい。そして、俗悪なむだ話、また、まちがって「霊知」と呼ばれる反対論を避けなさい。

6:21 これを公然と主張したある人たちは、信仰からはずれてしまいました。恵みが、あなたがたとともにありますように。

テモテへの厳かな勧めです。本当に必要なことは、このようにストレートに語るべきでしょう。テモテのたましいに響いたはずです。信仰を守り通すことは「戦い」でもあります。決して情性やいい加減なことでは乗り越えられない時があるのです。主はやがて御自身を表わす方、すなわちその教えの正しかったことを明かになさる方ですから、信仰を守り通しましょう。「とこしえの主権は神のもの」だからです。

ここでパウロはもう一度、富に関する戒めを書いています。「富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。」とは、自分の力で豊かになったを思わないためです。

また「富に望みを置かないように。むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように」と、智よりも重要なものがあるのだと言っています。それは「まことのいのち」です。この問題を、この祝福を、この幸いを最優先にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

